

MAHO SATO

ARTIST STATEMENT

身体に住む

私のアートは自分自身のカラダに「住む」実践からはじまります。呼吸する、歩く、食べる、絵を描く、踊る、掃除をする日々の行為を瞑想するように丁寧に意識して行います。そうすることで私は自身の内側につながり外側へとアート表現をする準備を整えます。

自然と身体

1 人静かに自然のなかを歩くことは「カラダは自然のいちぶ」である感覚を蘇らせてくれます。自然に触れ、彼らの呼吸、時間軸を深く観察し共存することは、創作を始める前に原点回帰できる、私にとって大切な儀式の1つです。

<https://www.mahosato.com/tree>

心と身体に刻まれたパーソナルな記憶

私のアートは今まで生きてきたなかで「心と身体に刻まれたパーソナルな記憶」をもとに生じます。身体表現、ペインティング、写真、インスタレーションという4つの方法をその時の感覚により選び「記憶」を視覚可能な作品へと表現していきます。日本に住む最愛の祖母が亡くなった際に、遠く離れた祖母へ祈りの踊りを捧げ、その時の感情の移り変わりをペインティングで表現した作品「感情の地図」をつくりました。この行為を通じて苦しい感情を前に進む原動力と変容することができました。アートは私自身にもどることのできる居場所であり、それを体験し感じることを可能にしてくれます。

<https://www.mahosato.com/grandmother>

コレクティブアート

2020年1度目のロックダウン解除後、自身が住むフィレンツェで地域の人々を交えてのコレクティブアート作品「フィレンツェ感情の地図」をつくりました。手と手が握手する写真と会話を通じて生まれるこの作品では、国籍や文化を超え人間と人間の心の通い合いを深く感じました。様々な文化習慣に生きる人々と一緒にこの地図をさらに広げていくことが自身のアート研究の1つになりました。

<https://www.mahosato.com/tactility>

WORKSHOP NATURACORPO コレクティブ アート エクスペリエンス

自然からインスピレーションを受け、身体と色彩で自分自身の感情を表現する作品を創作中に、生命力がカラダに漲るという感覚を覚え、この経験を入々と共有したいという思いから、ワークショップ「NATURACORPO コレクティブ アート エクスペリエンス」を通じて共同制作の作品のクリエーションをフィレンツェにてスタートしました。

<https://www.mahosato.com/workshop>

アートとは神聖であり瞑想的で自身の内に宿る力を呼び起こすアクションです。アーティストとは自分自身の真実に生きながら外の世界へと繋がりを共有する人のことです。